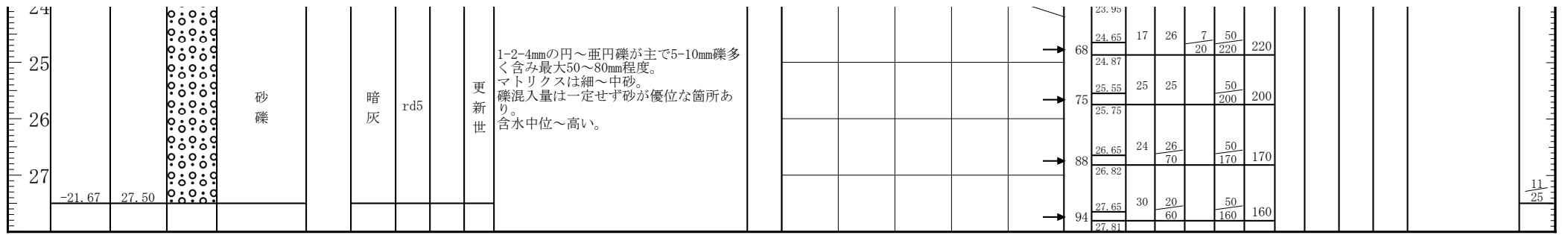


1. 柱状図



土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

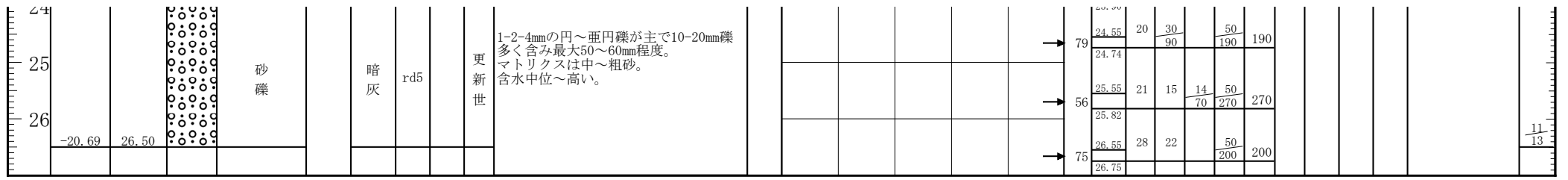
調査名 札幌市スポーツ交流施設用地地質調査業務

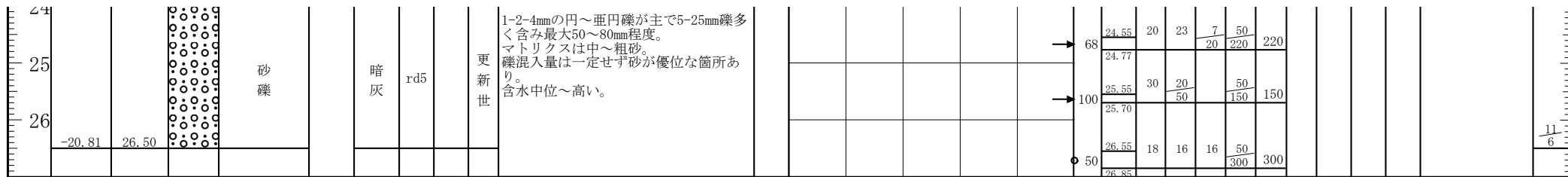
事業名 または 工事名 札幌市スポーツ交流施設用地地質調査業務

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	R6B-3	調査位置	北海道札幌市東区栄町885番地1の内（札幌市スポーツ交流施設敷地内）			北緯	43° 07' 2.84"				
発注機関	札幌市スポーツ局スポーツ部スポーツ都市推進課			調査期間	2024年 11月 8日 ~ 2024年 11月 13日		東経	141° 22' 30.55"			
調査業者名	スミセキ・ジオテクノ株式会社 電話 011-281-0136		主任技師	高橋伸之典 地質調査技士 登録番号: 第21972号		現場代理人	高橋伸之典 地質調査技士 登録番号: 第21972号		ボーリング責任者	山本純 地質調査技士 登録番号: 第17217号	
孔口標高	T. P. 5.81m		角	180° 上下 90° 0°		方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°		地盤勾配	鉛直 90° 0°	
総削孔長	26.50m		使用機種	試錐機 東亜利根TEC-1		エンジン	ヤンマーNFD-12-EX		ポンプ	-	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	試験番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日						
												深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量											
1	4.81	1.00	盛土 (砂質土)	盛土 (砂質土)		褐灰	rd2			不均質な砂質土。草根。含水は低い。1.0m付近礫混じり帯水。	11/08 0.98	0.65	2	2	2	6	300										
2	3.81	2.00	砂混じりシルト	砂混じりシルト		褐灰		rc1		含水低い~中位。粘性弱い~中位。		0.95	1	1	1	2	250	150	90	490	1.50	P3-2	○	密度、含水、粒度 (沈降)、LLPL			
3												1.99	0	1	1	2	250	80	140	470	2.00						
4						暗灰		rd2		粒子均一な細砂でゆるい。4.0m付近から粒子粗く粗砂状。含水中~高い。		2.50	0	1	2	3	250	80	140	470	2.50						
5												2.97	2	2	1	5	130	120	60	310	3.00	P3-4	○	粒度 (ふるい)			
6	-0.04	5.85	有機質シルト	有機質シルト		灰褐		rc2		上部有機質。繊維は不明瞭。含水中位。粘性中位。6.5m付近から砂分多く含み礫散在。		3.65	2	2	1	5	3.96	3	3	4	10	300	5.00	P3-5	○	密度、含水、粒度 (ふるい)	
7	-1.19	7.00	細砂	細砂		暗灰		rd2		粒子均一な細砂。含水低くゆるい。所々シルトの薄層をシーム状に挟む。		4.95	3	3	4	10	5.65	5	4	2	11	300	5.50	P3-6	○	密度、含水、粒度 (ふるい)	
8	-2.19	8.00	砂質シルト	砂質シルト		暗灰		rc3		シルトと細砂の互層状。含水低い。粘性中位。		6.65	1	1	1	3	6.95	2	2	3	7	300	6.00	P3-7	○	密度、含水、粒度 (沈降)、LLPL	
9	-3.19	9.00										7.65	2	2	3	7	7.95	2	2	2	6	300	7.00	P3-8	○	密度、含水、粒度 (ふるい)	
10												8.65	2	2	2	6	8.95	2	2	2	6	300	7.50	P3-9	○	密度、含水、粒度 (沈降)、LLPL	
11												9.65	1	1	1	3	10.00	1	1	1	1	500	8.00				
12						暗灰		rc1	更新世	全体的に均質で非常に軟らかい。含水中~高い。粘性中~強い。		10.50	0	1	1	1	11.00	0	1	1	1	500	8.50	P3-1	○	密度、含水、粒度 (沈降)、LLPL	
13												11.50	0	1	1	1	12.00	0	1	1	1	500	9.00				
14												12.50	0	1	1	1	13.00	0	1	1	1	500	11.50	P3-1	○	密度、含水、粒度 (沈降)、LLPL	
15	-9.19	15.00										13.50	0	1	1	1	14.00	0	1	1	1	500	12.00				
16												14.50	0	1	1	1	15.00	0	1	1	1	500	12.50				
17						暗灰		rc1		含水高く粘性弱~中位。。所々砂分多く含み不均質。		15.50	0	1	1	2	16.00	0	1	1	2	500	13.00	P3-1	○	密度、含水、粒度 (沈降)、LLPL	
18												16.50	0	1	1	1	16.96	0	1	1	1	500	13.50				
19	-13.19	19.00										17.50	0	1	1	2	17.96	0	1	1	2	460	14.00				
20						暗灰		rd2		若干細粒分含み粒子不均一な細砂。含水中位でゆるい。20m付近から微細砂で細粒分質。		18.85	1	2	2	5	18.96	1	2	2	5	310	14.50	P3-2	○	密度、含水、粒度 (ふるい)	
21												19.65	3	3	3	9	19.95	3	3	3	9	300	15.00				
22						暗灰		rc3		含水低く粘性弱い。全体的に砂分多く含み硬質。21.9m付近木片混入、軽石点在。		20.65	1	1	2	4	20.96	1	1	2	4	310	15.50				
23												21.65	2	2	2	6	21.95	2	2	2	6	300	16.00				
24	-17.49	23.30				暗灰		rd5	更新世	1-2-4mmの円~亜円礫が主で10-20mm礫多く含み最大50~60mm程度。		22.65	3	3	4	10	22.95	3	3	4	10	300	16.50	P3-1	○	密度、含水、粒度 (沈降)、LLPL	
												23.65	15	20	15	50	23.90	20	30	50	250	250	17.00				
												24.55	20	30	90	190	24.74	20	30	90	190	190	19.50	P3-2	○	密度、含水、粒度 (ふるい)	





土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

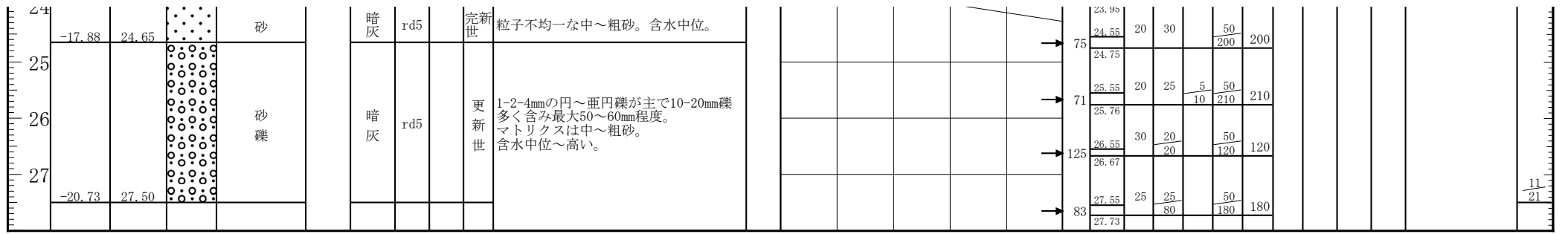
調査名 札幌市スポーツ交流施設用地地質調査業務

事業名 または 工事名 札幌市スポーツ交流施設用地地質調査業務

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

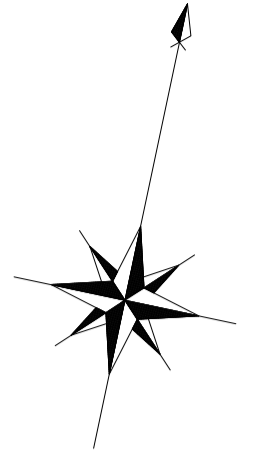
ボーリング名	R6B-5	調査位置	北海道札幌市東区栄町885番地1の内（札幌市スポーツ交流施設敷地内）			北緯	43° 07' 1.74"							
発注機関	札幌市スポーツ局スポーツ部スポーツ都市推進課			調査期間	2024年 11月 19日 ~ 2024年 11月 21日			東経	141° 22' 32.83"					
調査業者名	スミセキ・ジオテクノ株式会社 電話 011-281-0136		主任技師	高橋伸之典 地質調査技師 登録番号: 第21972号		現場代理人	高橋伸之典 地質調査技師 登録番号: 第21972号		コピ定者	高橋伸之典 地質調査技師 登録番号: 第21972号		ボーリング責任者	山本純 地質調査技師 登録番号: 第17217号	
孔口標高	T. P. 6.77m		角	180° 上下 90° 0°		方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°		地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°		使用機種	試錐機 東亜利根TEC-1 エンジン ヤンマーNFD-12-EX	
総削孔長	27.50m		ポンプ	-										

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	深試験採取番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日		
												深度 (m)	N	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量							
1	5.27	1.50	盛土 (砂質土)	盛土 (砂質土)		褐灰	rd2			不均質な砂質土~粘性土。草根。含水は低い。 0.5~0.8m間コンクリート片混入。 1.20m付近砂分多く含む。	11/19 1.90	8	1.15	2	3	3	8	300	1.50	P5-2	○	密度、含水、粒度 (沈降)、LLPL	
2	4.27	2.50	シルト	シルト		暗灰	rc4			含水低い~中位。粘性弱い~中位。 1.90m付近腐植土薄く挟む。		9	1.45	3	3	3	9	300	2.00				
3												1	2.65	1		1	1	300	2.50	P5-3	○	粒度 (ふるい)	
4				砂		暗灰	rd2			粒子均一な細砂でゆるい。 上部ややシルト混じる。 6.4m付近から粒子粗く粗砂状。 含水中~高い。		5	3.65	2	1	2	5	310	3.00				
5												4	3.96	150	60	2	310	3.50	P5-4	○	粒度 (ふるい)		
6												4	4.65	1	1	2	4	300	4.00				
7	-0.13	6.90										10	4.95	150	50	2	300	4.50	P5-5	○	密度、含水、粒度 (ふるい)		
8	-1.08	7.85	有機質シルト	有機質シルト		暗灰	rc2			上部有機質。繊維は不明瞭。 含水中位。粘性中位。 7.9m付近から砂混じりシルト状。		6	5.65	3	3	4	10	300	5.00				
9	-2.53	9.30	細砂	細砂		暗灰	rd2			粒子均一な細砂。含水低くゆるい。 所々シルトの薄層をシーム状に挟む。		6	6.65	3	2	1	6	300	5.50	P5-6	○	粒度 (ふるい)	
10	-3.98	10.75	砂混じりシルト	砂混じりシルト		暗灰	rc2			シルトと細砂の互層状。 含水低い。粘性中位。		6	6.95	3	2	1	6	300	6.00				
11												3	7.65	1	1	1	3	340	6.50	P5-7	○	密度、含水、粒度 (ふるい)	
12												3	7.99	200	70	70	340	7.00					
13												1	8.65	2	2	2	6	300	7.50	孔内載荷試験 P5-8	○	E=7.32E+02kN/m ² 密度、含水、粒度 (沈降)、LLPL	11/19
14												6	8.95	2	2	2	6	300	8.00				
15												5	9.65	2	2	2	6	340	8.50	P5-9	○	密度、含水、粒度 (ふるい)	
16												5	9.99	130	110	2	340	9.00					
17	-9.73	16.50										3	10.65	1	1	1	3	350	9.50	P5-10	○	密度、含水、粒度 (沈降)、LLPL	
18												1	11.00	0	1	1	1	500	10.00				
19												0	11.50	250	250	500	0	500	10.50				
20												0	12.00	ハンマー自注		0	500	11.00	P5-14	○	密度、含水、粒度 (沈降)、LLPL		
21												0	12.50	ハンマー自注		0	500	11.50					
22												1	13.00	ハンマー自注		0	500	12.00					
23												1	13.50	ハンマー自注		0	500	12.50					
24												1	14.00	ハンマー自注		0	500	13.00					
25												4	14.50	ハンマー自注		0	500	13.50					
26												1	15.00	ハンマー自注		0	500	14.00					
27												1	15.50	0	1	1	500	14.50					
28												4	16.00	300	200	500	1	500	15.00				
29												4	16.50	0	1	1	500	15.50					
30												1	17.00	400	1	1	500	16.00					
31												4	17.50	1	1	2	4	320	16.50	P65-18	○	密度、含水、粒度 (沈降)、LLPL	
32												4	17.97	1	1	2	4	320	17.00				
33												4	18.65	1	2	1	4	320	17.50				
34												4	18.97	90	160	70	320	18.00					
35												13	19.65	4	4	5	13	300	18.50	P5-20	○	粒度 (ふるい)	
36												10	19.95				10	300	19.00				
37												10	20.65	3	3	4	10	300	19.50	P5-21	○	密度、含水、粒度 (ふるい)	
38												9	20.95	3	3	3	9	300	20.00				
39												9	21.65	3	3	3	9	300	20.50	P5-22	○	粒度 (ふるい)	
40												6	21.95				6	300	21.00				
41												6	22.65	2	2	2	6	300	21.50				
42												20	22.95	2	2	2	6	300	22.00				
43												20	23.65	3	3	14	20	300	22.50				
44												75	23.95	3	3	14	20	300	23.00				
45												75	24.55	20	30	50	200	200	23.50				
46												75	24.75						24.00				

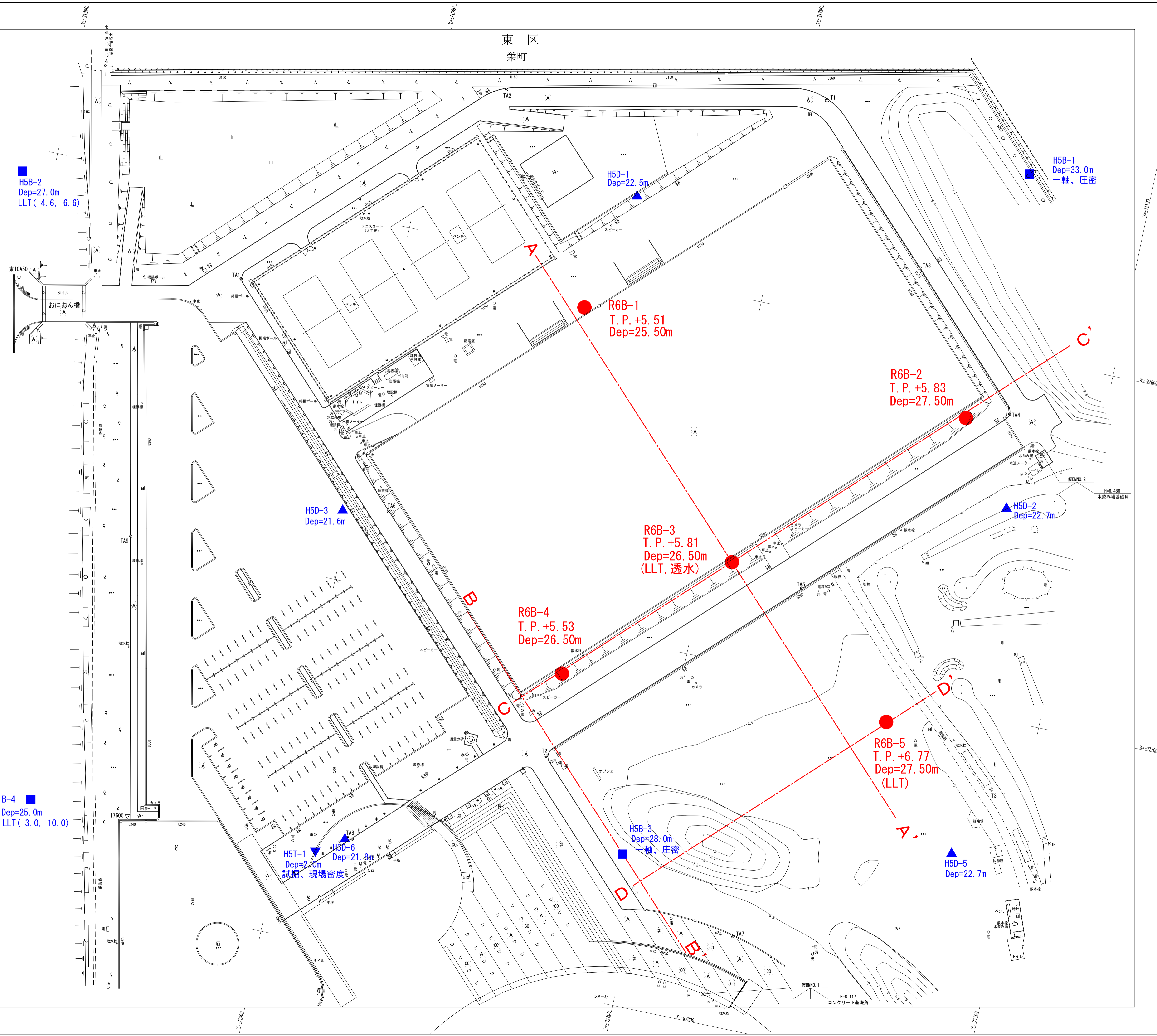


2. 調査平面図

業務名	札幌市スポーツ交流施設用地 地質調査業務		
図面名	調査平面図		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	1:500	図面番号	1/1
会社名	スミセキ・ジオテクノ株式会社		
事業者名	札幌市スポーツ局スポーツ部スポーツ都市推進課		



東 区
栄町



H5B-2
Dep=27.0m
LLT(-4.6, -6.6)

H5D-1
Dep=22.5m

H5B-1
Dep=33.0m
一軸、圧密

R6B-1
T. P. +5.51
Dep=25.50m

R6B-2
T. P. +5.83
Dep=27.50m

H5D-3
Dep=21.6m

R6B-3
T. P. +5.81
Dep=26.50m
(LLT, 透水)

H5D-2
Dep=22.7m

R6B-4
T. P. +5.53
Dep=26.50m

R6B-5
T. P. +6.77
Dep=27.50m
(LLT)

B-4
Dep=25.0m
LLT(-3.0, -10.0)

H5B-3
Dep=28.0m
一軸、圧密

H5T-1
Dep=2.0m
試験、現場密度

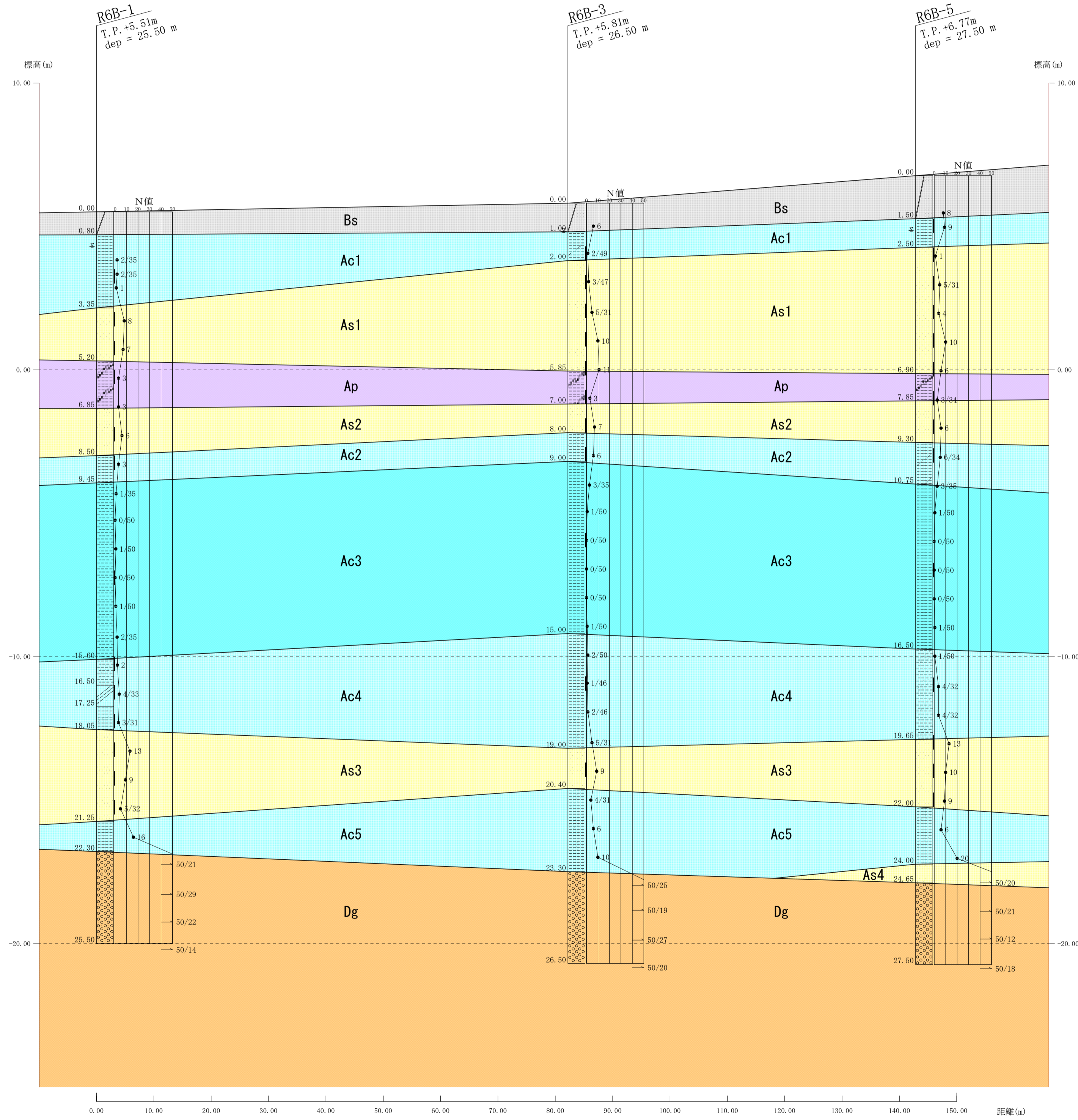
H5D-6
Dep=21.8m

H5D-5
Dep=22.7m

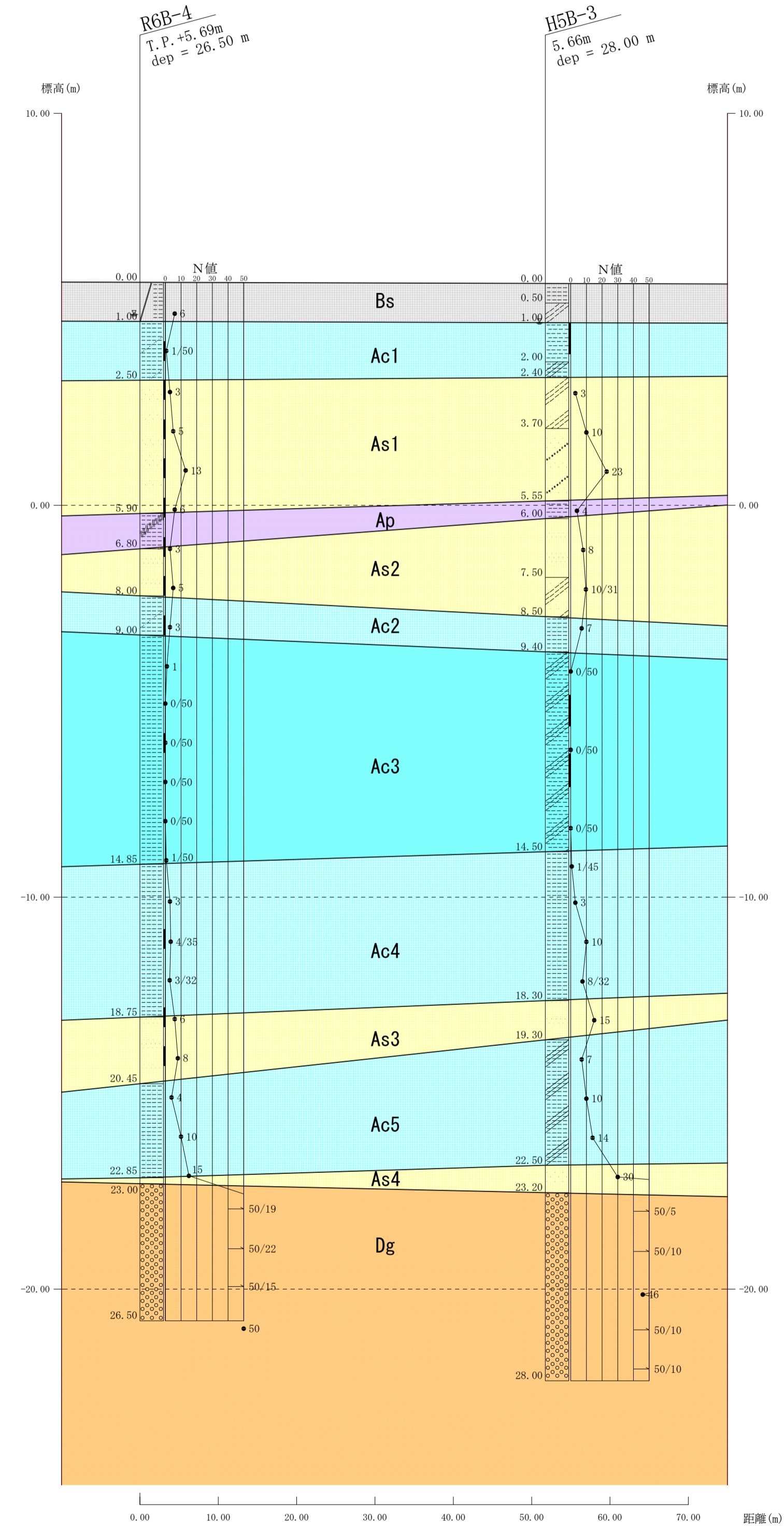
高さ117
コンクリート基礎角

3. 地質断面図

A-A' 断面



B-B' 断面



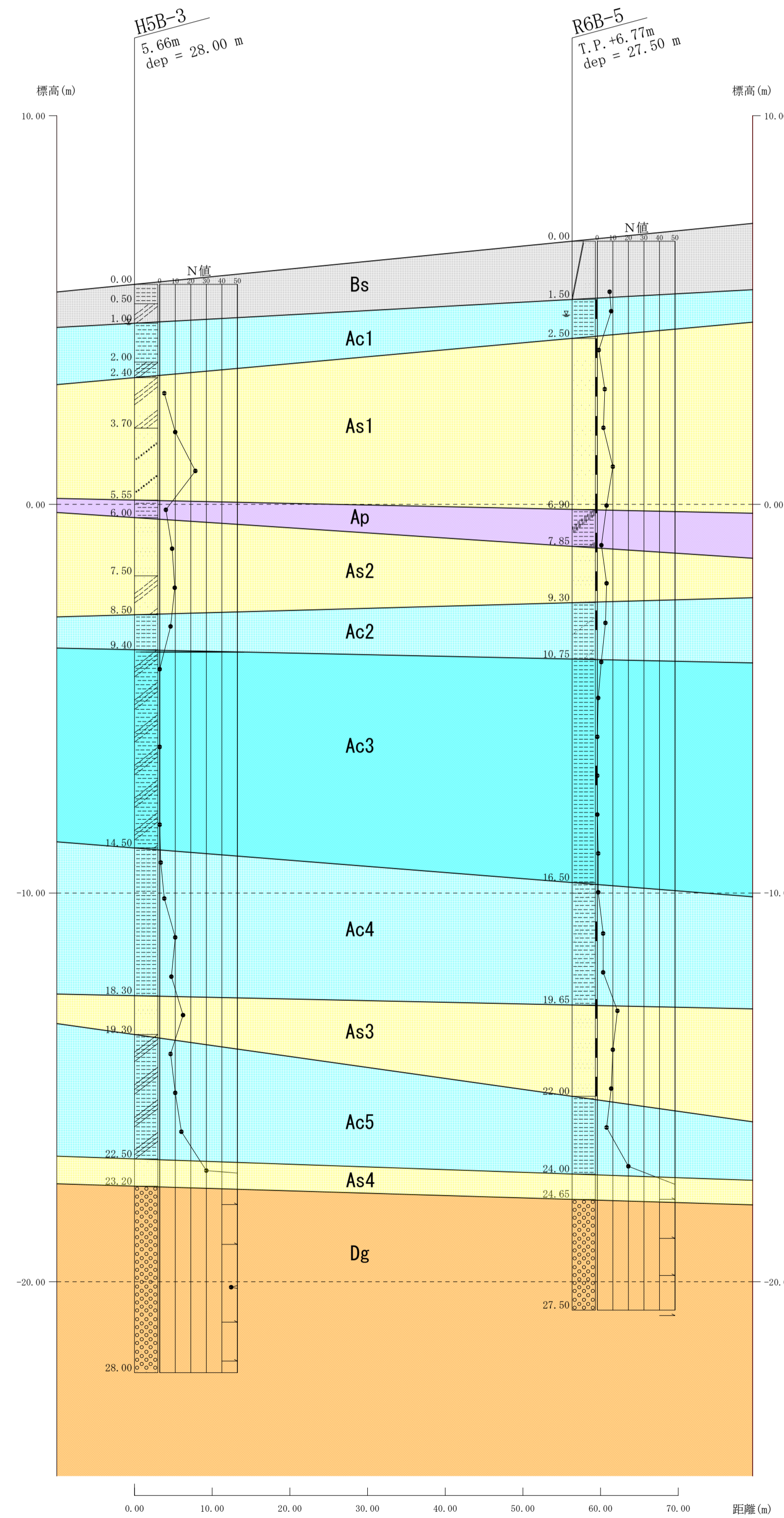
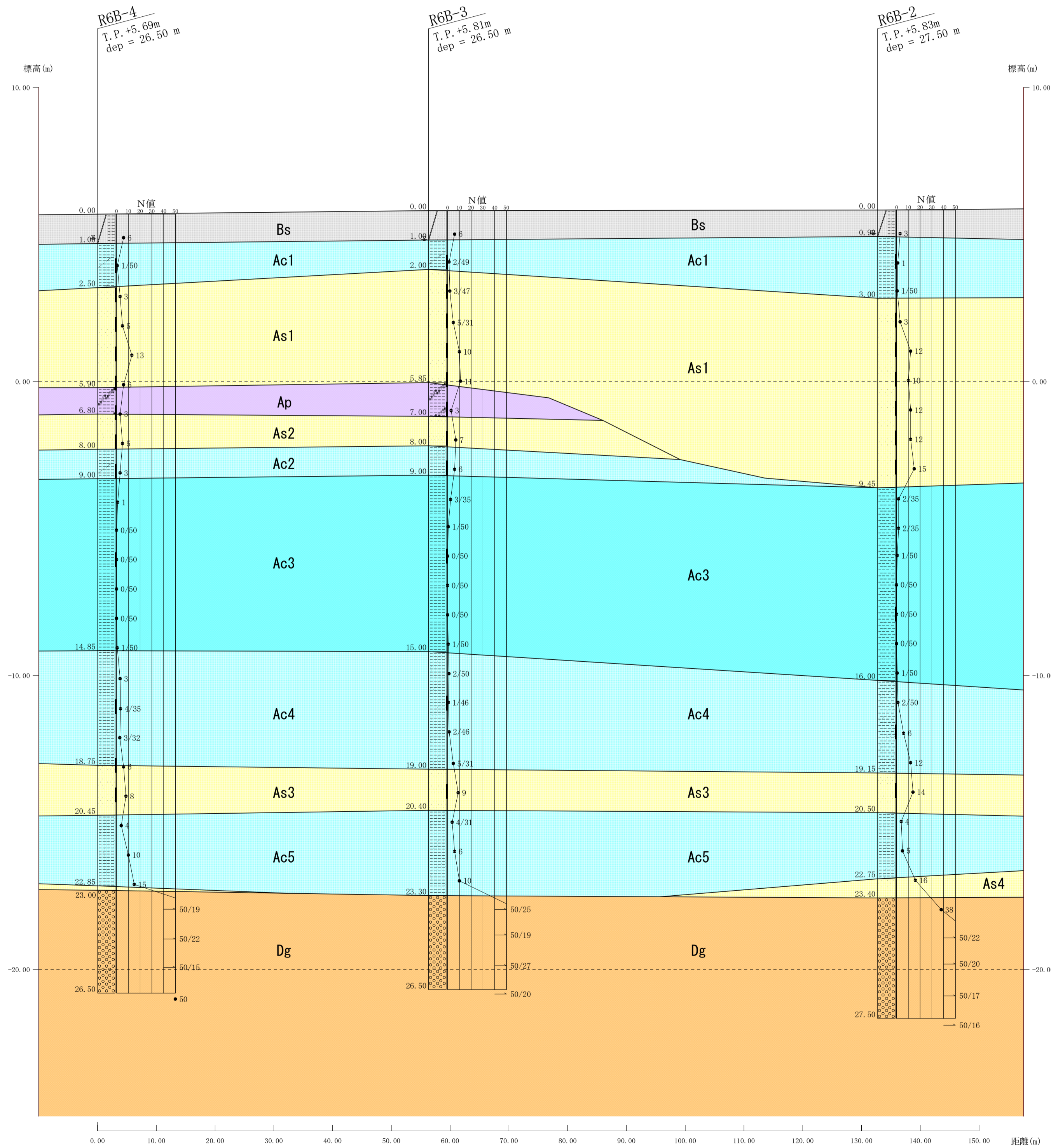
凡例

時代	土層名	記号	N値 (回)	層厚 (m)	特徴や分布	(参考) 既往調査記号	
新	盛土	Bs	-	0.8~1.5	造成盛土。砂質土~粘性土の混合で不均質で雜混入。草根。含水は低い。	Bs	
	粘性土-1	Ac1	1~3	1.0~2.5	シルト、砂まじりシルト、砂質シルト。含水中位で軟らかい。所々腐植物混入。	Ac1	
	砂質土-1	As1	1~15	1.8~6.5	粒子均一な細砂。下部粒子粗く粗砂状。含水高く緩い。		
	有機質土	Ap	2~3	0.9~1.7	やや分解進み繊維不明瞭な有機質土。含水中位で軟らかい。	Ap	
	砂質土-2	As2	4~7	1.0~1.9	粒子均一な細砂。含水中位。所々シルトの薄層をシーム状に挟む。	As2	
	粘性土-2	Ac2	3~6	0.9~1.5	シルト、砂まじりシルト、砂質シルト。含水低く粘性中位。	Ac3	
	粘性土-3	Ac3	0~3	5.8~6.6	調査地全体に厚く分布する均質なシルト~粘土。層中央部はN値0の自沈層で非常に軟弱。含水中位~高く粘性強い。		
	粘性土-4	Ac4	1~6	2.4~4.0	砂質粘土、砂質シルト、砂まじりシルト、シルト質砂の互層状で不均質。含水中位で軟らかい。		
	世	砂質土-3	As3	5~14	1.3~3.2	若干細粒分含み粒子不均一な細砂。含水中位。密度緩い~中位。	As3
		粘性土-5	Ac5	4~16	1.0~2.9	含水低く粘性弱い砂質シルト。全体的に砂分多く含み硬質。部分的に腐植物、軽石混入。	Ac4
更	砂質土-4	As4	16~18	0.1~0.7	粒子不均一な中~粗砂。含水中位。	As4	
新	雜質土	Dg	38~	3.0<	調査地の基盤面。基質は粒子不均一な中~粗砂で非常に密に締まっている。層は1-2mmの重円礫が主で、10-20mmの礫多く含み最大50~80mm程度。雜混入量は一定せず砂が優位な箇所あり。含水は中位~高い。	Dg	
			50<				

業務名	札幌市スポーツ交流施設用地 地質調査業務		
図面名	地質断面図 (1)		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	H=1:500 V=1:100	図面番号	1/1
会社名	スミセキ・ジオテクノ株式会社		
事業者名	札幌市スポーツ局スポーツ都市推進課		

C-C' 断面

D-D' 断面



凡例

時代	土層名	記号	N値 (回)	層厚 (m)	特徴や分布	(参考) 既往調査記号	
第四紀	盛土	Bs	-	0.8~1.5	造成盛土。砂質土~粘性土の混合で不均質で礫混入。草根。含水は低い。	Bs	
	粘性土-1	Ac1	1~3	1.0~2.5	シルト、砂まじりシルト、砂質シルト。含水中位で軟らかい。所々腐植物混入。	Ac1	
	砂質土-1	As1	1~15	1.8~6.5	粒子均一な細砂。下部粒子粗く粗砂状。含水高く緩い。	Ac1	
	有機質土	Ap	2~3	0.9~1.7	やや分解済み繊維不明な有機質土。含水中位で軟らかい。	Ap	
	砂質土-2	As2	4~7	1.0~1.9	粒子均一な細砂。含水中位。所々シルトの薄層をシーム状に挟む。	As2	
	粘性土-2	Ac2	3~6	0.9~1.5	シルト、砂まじりシルト、砂質シルト。含水低く粘性中位。	Ac2	
	粘性土-3	Ac3	0~3	5.8~6.6	調査地全体に厚く分布する均質なシルト~粘土。層中央部はN値0の自沈層で非常に軟弱。含水中位~高く粘性強い。	Ac3	
	粘性土-4	Ac4	1~6	2.4~4.0	砂質粘土、砂質シルト、砂まじりシルト、シルト質砂の互層状で不均質。含水中位で軟らかい。	Ac4	
	砂質土-3	As3	5~14	1.3~3.2	若干細粒分含み粒子不均一な細砂。含水中位。密度緩い~中位。	As3	
	粘性土-5	Ac5	4~16	1.0~2.9	含水低く粘性弱い砂質シルト。全体的に砂分多く含み硬質。部分的に腐植物、軽石混入。	Ac5	
	砂質土-4	As4	16~18	0.1~0.7	粒子不均一な中~粗砂。含水中位。	As4	
	更	礫質土	Dg	38~50<	3.0<	調査地の基盤面。基質は粒子不均一な中~粗砂で非常に密に締まっている。礫は1-2mmの重円礫が主で、10-20mmの礫多く含み最大50~80mm程度。礫混入量は一定せず砂が優位な箇所あり。含水は中位~高い。	Dg

業務名	札幌市スポーツ交流施設用地 地質調査業務		
図面名	地質断面図 (2)		
作成年月日	令和 7 年 3 月		
縮尺	H=1:500 V=1:100	図面番号	1/1
会社名	スミセキ・ジオテクノ株式会社		
事業者名	札幌市スポーツ局スポーツ都市推進課		

4. 孔内水位記錄表

